いきいきふるさと

発行／古里住民自治協議会　発行者／金子　祐三　編集／広報委員会　第60号

安心・安全なまちづくりを目指して

古里住民自治協議会 会長　**金子 祐三**

本年度古里住民自治協議会の会長を務めさせていただく金子でございます。
よろしくお願い申し上げます。

昨年度は台風 19 号により当地区も甚大な被害を受けました。被害に遭われた方々に心からお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。

古里住民自治協議会は設立後 13 年目を迎えました。その間歴代の役員さんのご尽力と住民の皆様のご理解とご支援により存在感のある住自協としていただき感謝でございます。

当協議会の中心的事業は福祉活動計画の推進、安心安全な地域づくり、こどもさんへの支援、特色ある地域づくりです。中心的事業と共にその他の課題についても住民の皆様と関係機関のご協力をいただき進めて参ります。昨年の水害を機として災害への住民の皆様の危機意識向上と防災体制の構築により、安心安全な地域づくりができるよう一層強化することが必要と考えています。

新型コロナウイルスの影響で先行き不透明な部分もありますが、状況に応じその時点でベストな選択をし、住民の皆様のご協力の基、この地に住んで良かったと思っていただけるよう全力で取り組んで参ります。

何卒よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスに感染しないために

【1】**不要不急**の外出は控えましょう。
【2】**密閉、密集、密接**を避けましょう。
【3】**マスク、手洗い、うがい**をしましょう。

健康に生活することを意識しましょう。

令和2年4月8日　第13回古里住民自治協議会の定期総会は、これを常任評議会に替えて、元年度の事業・決算報告並びに2年度の事業計画・予算案が審議されました。コロナウイルスの影響で、全員マスク着用での開催となりました。

令和2年度(2020年度) 事業計画

古里住民自治協議会は設立以来「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」を目指し、中核事業を中心に地域住民のニーズを踏まえ各種事業を推進します。

○ **中核事業1「高齢者の孤立化防止と避難行動要支援者への対応」**
高齢者の皆さんが生きがいをもって明るく過ごせるように、また、避難行動要支援者の皆さんが安心して生活できるように、地域福祉ワーカーや民生児童委員など関係の皆さんと連携して「支え合い活動計画」などを基に事業を進めます。

○ **中核事業2「大災害に備えた防災体制の構築」**
自然災害や非常時における避難・救急体制の新たな構築により、安心・安全な地域づくりを進め、本地域の特性・状況にあった「安心・安全防災マップ」を作成します。

○ **中核事業3「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」**
地域の「子どもを守る会」や「学校」との連携のもと、次代を担う子供たちの育成を支援します。

総務部会

総務部会長
吉原　実

古里住民自治協議会のさらなる発展をめざして

古里住民自治協議会は設立13年目となりました。

今年度も急速に進む少子高齢化や地震・水害など突然見舞われる非常時への対応等、取り組まなければならない課題は多々ありますが、第二次古里地区地域福祉活動計画を基に策定した「支え合い活動計画」での、お互いに助け合う仕組みづくりにより「誰もが安心して生活できる安全な地域づくり」をめざして事業を推進してまいります。

総務部会では、毎月定例的に開催される会議を通し、各部会、支部（区）及び関係諸団体との連携を図り、それぞれの活動が円滑に進むよう組織運営を進めると共に、住民自治協議会や関係諸団体の事業内容等をお知らせする広報活動と環境美化活動を推進してまいります。

皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○市・県など行政機関との連携
○住民自治協議会の組織・運営の統括
○支部活動の充実
○広報誌「いきいきふるさと」の発行 年５回
○環境美化活動の推進

安心安全部会

安心安全部会長
小林 正樹

安心して生活できる安全な地域づくりの推進

安心安全部会は中核事業２「大災害に備えた防災体制の構築」を基本に、交通安全、防犯、防災の３委員会が連携し、事業を推進してまいります。

昨年の台風19号・千曲川決壊で古里地区は大きな被害を受けました。今回の災害により、更なる防災・減災の必要性を再認識しました。このため、本年度は自然災害への対応について再検討を行い、「安心・安全防災マップ」の見直し・作成などに取り組む予定です。防災・減災には、各区の自主防災会を始め地区の皆様方のご協力が是非とも必要です。よろしくお願い申し上げます。

〈 主な事業は次のとおりです 〉

○防災委員会
大規模災害を想定した防災訓練（情報収集、救出・救護、避難所設営等）、防災講演会、防災設備の整備等

○交通安全委員会
交通安全マナーアップ運動（毎月第一水曜日に古里小前交差点、大下橋交差点）、白線引き、カーブミラーの清掃等

○防犯委員会
夏季・年末防犯パトロールの実施（区・防犯委員会）、警察・防犯協会への協力等

福祉健康部会

福祉健康部会長
大澤 好明

心豊かな健康・福祉地域をめざして

古里地域のすべての住民の皆様が、健康で心豊かで幸せを感じられる地域を目指し、第二次古里地区地域福祉活動計画に沿って事業を推進してまいります。

特に中核事業１「高齢者の孤立化防止と避難行動要支援者への対応」を目標とし、高齢者の皆さんが生きがいをもって明るく過ごせるように、また、避難行動要支援者の皆さんが安心して生活できるように、地域福祉ワーカーや民生児童委員、赤十字奉仕団など関連団体との連携のもと地域の皆様のご支援をいただきながら取り組んでまいります。

〈 主な事業は次のとおりです 〉

○避難行動要支援者の見守り・安否確認や災害弱者への支援活動
●お茶のみサロン ●防災訓練への参加

○住民の健康維持向上、病気予防、福祉活動等に関する啓発活動
●ふれあい健康づくり講座 ●健康講座、健康体操
●古里地区福祉大会 ●男性のための料理教室
●介護者の集い

○住民相互の「絆」を大切にする各種交流、支援事業
●やさしさとふれあいの集い
●新入学祝い品の贈呈　●子育てサロン
●母子、父子家庭への浴場招待券の贈呈
●要援護者への年末慰問
●東北三地区福祉自動車運行及び家事援助

文化教育部会

文化教育部会長
宮下 富雄

世代を超えて郷土愛を育む地域づくりを目指して

本年度も中核事業3「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」を目標に、四つの委員会や他の部会、地域の諸団体及び小中学校との連携を密にして事業を推進してまいります。

青少年と高齢者が世代を超えて共に学び、楽しい活動を通して郷土に対する愛着や誇りが持てるような地域づくりを目指していきたいと思います。

地域の皆様の一層のご支援とご協力をお願いします。

〈 主な事業は次のとおりです 〉

○公民館活動委員会
- ●地域親善球技大会 ●古里歴史ウオーキング
- ●成人祝賀会 ●ゴルフ大会 ●囲碁将棋大会
- ●文化芸能祭 ●古里かるた大会
- ●人権教育研修会（各地区）

○育成会活動委員会
- ●各地区合同交流会（スポーツ大会等）

○青少年育成委員会
- ●更生施設等研修
- ●青少年健全育成事業（各地区）
- ●東北中下校時あいさつ運動及び子ども見守り活動

○人権共生委員会
- ●古里地区人権住民集会

ふるさと部会

ふるさと部会長
丸山 文昭

特色ある地域づくりの推進を目指して

本年度のふるさと部会は「ふるさとづくり委員会」と「北部幹線に係る地域活性化委員会」で構成し、下記の事業目標で事業を行います。

1．ふるさとづくり委員会

（1）事業目標　「ふるさとの歴史や伝統を活かした特色のある地域づくり」

1）ホタル観賞事業
北部スポーツ・レクリエーションパーク北側の田子川・土京川で6月下旬に実施します。大勢の皆さんの参加をお待ちしております。

2）AKB事業（A歩いて、K考え、Bビューティフルな地域づくりを目指して）
「古里地区史跡マップ」を基に古里の名所旧跡に案内看板を設置する事業で3年目となります。

3）年間を通して行う事業
地域の課題に柔軟に対応し他の部会が行う事業へも協力してまいります。

2．北部幹線に係る地域活性化委員会

（1）事業目標「北部幹線沿い市街化調整区域を対象とした活性化策の調査研究」
令和元年6月に発足した委員会です。昨年は当住自協の中で休耕地調査、調整区域の活性化に資する農作物の調査研究を行ってまいりました。

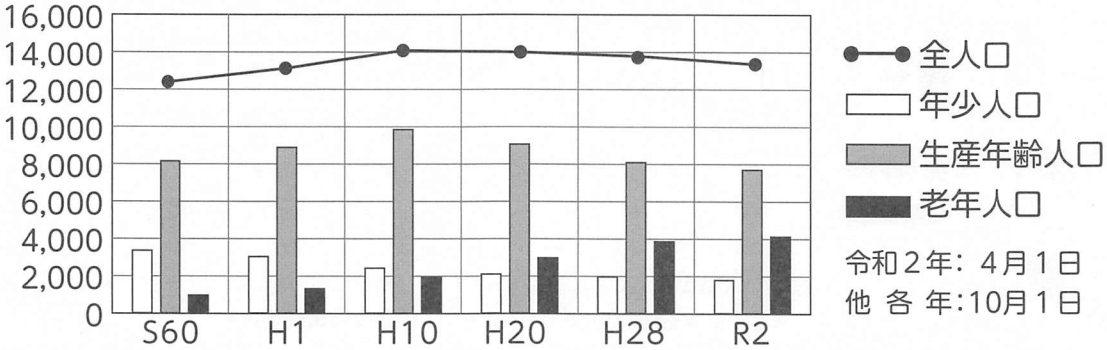
本年度は古里住民の皆様に参加いただき活性化策の調査研究を更に深めてまいります。

令和2年度　古里住民自治協議会 主な役員

会長	金子 祐三
副会長(総務部会長)	吉原 実
事務局長	大澤今朝幸
財務委員長	北條 勤
監事	中村 和好
監事	小湊 裕
総務委員(富竹区長)	清水 重孝
〃 (金箱区長)	宮澤 脩
〃 (下駒沢区長)	小林 信重
〃 (上駒沢区長)	長崎夫与志
〃 (三才区長)	吉原 実
総務委員(西三才区長)	小林 成康
〃 (新町区長)	小橋 元春
〃 (第二団地区長)	藤沢 勇夫
広報委員長	小林 收
環境整美委員長	宮澤 秀治
安心安全部会長	小林 正樹
交通安全委員長	藤本 信久
防犯委員長	花岡 孝雄
防災委員長	横田 政幸
福祉健康部会長	大澤 好明
福祉委員長	宮澤 純子
健康委員長	羽田 君子
文化教育部会長	宮下 富雄
公民館活動委員長	佐藤 文博
育成会活動委員長	小山祐太郎
青少年育成委員長	中澤 義近
人権共生委員長	山崎 幸孝
ふるさと部会長	丸山 文昭
ふるさとづくり委員長	平野 誠
北部幹線に係る地域活性化委員長	丸山 文昭

古里地区の人口動態

古里地区人口(年少・生産年齢・老年)の推移
令和2年(2020)4月1日現在



	昭和60年	平成1年	平成10年	平成20年	平成28年	令和2年
全人口	12,263	13,037	14,046	13,957	13,708	13,524
年少人口	3,176	2,866	2,290	1,981	1,859	1,767
(率)	(25.9)	(22.0)	(16.3)	(14.2)	(13.6)	(13.1)
生産年齢人口	8,146	8,888	9,847	9,061	8,016	7,702
(率)	(66.4)	(68.2)	(70.1)	(64.9)	(58.5)	(57.0)
老年人口	941	1,283	1,909	2,915	3,833	4,055
(高齢化率)	(7.7)	(9.8)	(13.6)	(20.9)	(28.0)	(30.0)

○年少者(0～14才)　○生産年齢者(15～64才)　○老年者(65才以上)

区の実態・状況に目を向けて

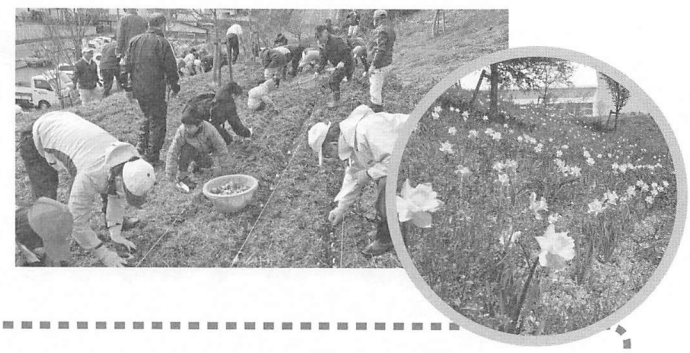
区別人口(年少・生産年齢・老年)
令和2年(2020)4月1日現在

	古里地区	富　竹	金　箱	下駒沢	上駒沢	三　才	西三才	新　町	第二団地
全人口	13,524	5,566	1,045	1,779	2,425	1,143	977	430	159
(割合)	(100)	(41.2)	(7.7)	(13.2)	(17.9)	(8.5)	(7.2)	(3.2)	(1.2)
年少人口	1,767	741	156	234	359	142	97	32	6
(率)	(13.1)	(13.3)	(14.9)	(13.2)	(14.8)	(12.4)	(9.9)	(7.4)	(3.8)
生産年齢人口	7,702	3,265	559	1,033	1,438	633	513	210	51
(率)	(57.0)	(58.7)	(53.5)	(58.1)	(59.3)	(55.4)	(52.5)	(48.8)	(32.1)
老年人口	4,055	1,560	330	512	628	368	367	188	102
(高齢化率)	(30.0)	(28.0)	(31.6)	(28.8)	(25.9)	(32.2)	(37.6)	(43.7)	(64.2)
世帯数	5,584	2,327	386	698	929	467	417	239	121
(割合)	(100)	(41.7)	(6.9)	(12.5)	(16.6)	(8.4)	(7.5)	(4.3)	(2.2)

○長野市住民基本台帳の登録人口資料による。そのため、実数値と一致しない場合があります。○集計区分の区名と行政区と一致しない場合があります。

北部スポーツ・レクリエーションパーク水仙の植栽

3月7日(土)北部スポーツ・レクリエーションパーク緑化事業の一環である水仙球根の植栽が大勢の参加を得て行われました。この事業は3年目を迎え、昨年10月の予定でしたが台風19号災害のため、繰り延べとなっていたものです。そして4月下旬には、写真のように、一斉に可憐な花が開花しました。



今後の行事等の実施について

新型コロナウイルス感染防止対策により、計画していた行事や活動が中止または延期せざるを得ない状況が続いています。
打合わせ会議、草刈りなど、必要不可欠な活動につきましては、感染防止対策を十分おとりいただくようお願いします。